

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(5/19)

文・写真：武田、写真：山國

日時：2019(令和元)年 5月 19日(日) 9:30～15:30

気象：天候=晴

活動エリア：45林班ろ・03

活動内容：斜面の林床整備、小水路の復旧、枝打ち など

参加者：

(会員)猪川 誠、泉家恵子、斧田一陽、小櫃徹夫、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、杉本佳英、  
武田壽夫、福西勇之助、宮本 廣、山 國 小計 12名  
(体験)芦田敬祐、前田武志 小計 2名 合計 14名

### ＜<sup>べにばなさかう</sup>歳時記は紅花 榮＞

暦によれば紅花の盛期だそう。足早に気温は春から初夏へと移りつつあり、そろそろ標高の高い44林班での活動に移る日が近い。当 **45林班の谷での作業を仕上げたい**、身支度・装備を整えて勇躍(?)活動地に向う。

44林班ろ・03は一寸した谷地で、溪流を挟んで急傾斜の斜面が落ちている。このため滑り易いことこの上無く、鋸・チェーンソーの扱いには足場の確保に神経を使う。同じ斜面の上手・下手の作業には声掛け不可欠。一方、谷底の溪流に注ぎ込む小水路はスッカリ落ち葉や土に埋っていて、これはさながら**畑の土起し**そのもの。いろいろ注意しながら3班に別れ作業を進める。

体験参加のお二人には斧田会員の案内で活動地全域の巡視に赴く。念の為、鋸のほかバチ鋤を携行。

### ＜今日の成果＞

傾斜は急だが見通しは良く、林床整備は大いに捗る。南北の斜面合わせて幅30m×長さ180mの範囲をスッキリ(?)させることが出来た(**面積0.54haは新記録**)。小水路は**全流路30mを掘り返し**、「架橋工事」も実施。枝打ちは午前で終え、午後は林床整備に参加。

体験参加組は巡視中、登山道の水切り溝の掘り返し、常緑樹の除伐を行い、一巡後は溪流に落ち込んだ倒木や落枝の整理に取り組み。帰途は喘ぎながら小屋への直登(的)ルートを取る。**標高差は100m近い**。

(作業の様子は写真編で)

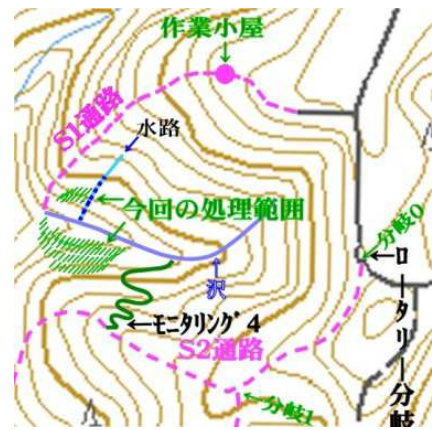
### ＜季節の山だより＞

郡上八幡の井上会員からは姥ヶ岳(福井 1453.6m)の大柄(樹高 26m)、活動地で見つけたのは「マムシグサ」、収集家に人気(?)の「マイマイカブリ」、「バルーン」のしぼんだ落し物。

<終了後疲れた顔の集合写真>



<活動地要図>



<埋っている小水路>



<浚えた小水路、橋も完成>



<イベントの残骸(萎んだバルーン)>



<マムシグサを発見>



<斜面の整備中①>



<斜面の整備中②>



<整備後>



<整備後>



<姥ヶ岳、平家平の大栃(樹齢 400 年)>



<マイマイカブリ>

